



姉妹都市協会のマスコット
「シスターくん」

TOMO 姉妹都市ニュース

札幌姉妹都市協会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル 札幌国際プラザ内 TEL: 011-211-2105

札幌市の姉妹・友好都市紹介

ポートランド市 (アメリカ)

1959年11月に提携。オレゴン州最大の都市で、環境に優しい都市として知られています。毎年6月に開かれる「ローズフェスティバル」が有名です。



▲ローズフェスティバル

ミュンヘン市 (ドイツ)

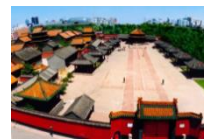
1972年8月に提携。バイエルン州の州都で、ビールの街として有名。毎年9月から10月にかけて行われるオクトーバーフェストでは連日連夜ビールを飲み、歌い踊り明かします。



▲新市庁舎

瀋陽市 (中国)

1980年11月に提携。遼寧省の省都で、7200年前には定住集落があったとされ、長い歴史を持つ古都。瀋陽故宮は世界遺産に登録されています。



▲瀋陽故宮

ノボシビルスク市 (ロシア)

1990年6月に提携。ロシア第3の都市で、世界で最も人口が急増した街と言われています。音楽やバレエなど優れた芸術文化を誇ります。



▲国立オペラ・バレエ劇場

大田広域市 (韓国)

2010年10月に提携。国内随一の先端科学技術都市として注目されています。百濟時代に発見された儒城(ユソン)温泉が有名です。



▲エキスポ科学公園



～札幌-ポートランド姉妹都市提携60周年記念事業～ ポートランド親善訪問団が来札幌しました！

札幌-ポートランドの姉妹都市提携60周年を記念し、2019年10月23日(水)から27日(日)まで、ポートランドのテッド・ウィーラー市長をはじめとする総勢46名の親善訪問団が札幌を訪れました。滞在中、札幌市主催の記念式典・記念レセプション、市内視察など様々な催しが行われました。

10月24日(木)、国際プラザではホームビジットを実施。訪問団はボランティアの家庭を訪れ、一緒に夕食を食べ、互いの文化について語り合うなど、交流を深めました。参加者からは、「また札幌に来た時にはぜひ再会したい」との感想があり、「家族の一員」としてのひと時を楽しまれたようでした。



▲ホームビジットの様子

10月26日(土)は、日本文化体験ボランティアによる着物の着付け・茶道体験を実施し、ウィーラー市長や多くのポートランド市民の方が参加しました。着物姿でお茶を楽しむ参加者からは笑顔が溢れ、日本の文化を満喫されていました。

同日夕方、北海道大学で開催したフェアウェルパーティーでは、両市の姉妹都市交流に携わってきた札幌市民や今回新たに親交を結んだ人々が一堂に会し、ポートランドのみなさんとの最後の時間を過ごしました。



▲ 日本文化体験の様子

2019年は通年にわたって札幌とポートランドの両都市で様々な記念事業が行われ、両都市の市民に支えられながら、長年にわたり築かれた交流の歴史を振り返り、友好の絆を確かめ合った一年となりました。今後もまちづくりをはじめ、学術・芸術・ビジネスなど様々な分野での交流が行われ、両市の友好関係が続いていくことが期待されます。



▲ フェアウェルパーティーの様子



ピケット領事のやさしい英語で聞く 行ったつもりでポートランドを開催しました

2020年2月8日(土)、「やさしい英語で聞く 行ったつもりでポートランド」を開催しました。今回ガイド役を務めたのは、ポートランドが第二の故郷である在札幌米国総領事館のロバート・ピケット領事です。

ピケット領事のユーモアたっぷりのガイドのもと、ポートランド国際空港に到着した後、路面電車の『MAX』等を利用して、日本庭園やローズガーデンなどの名所や、地元の人を楽しむランチやアイスクリームの店を訪問したり、郊外の大自然の中を歩いたりしました。美しい写真や動画もふんだんに使われ、まさに「ポートランドに行ったつもり」になれるセミナーとなりました。

最後にはポートランドグッズが当たる抽選会も実施し、会場は大いに盛り上がりました。



▲会場は満員御礼



ポートランドチームが国際雪像コンクールに参加しました

2020年2月4日(火)より開幕した『第72回さっぽろ雪まつり』では、今年も大通会場11丁目国際広場を舞台に『国際雪像コンクール』が開催され、11ヶ国から参加チームが出場し、高い芸術性を競い合いました！



▲完成した雪像

姉妹都市からは、ポートランドチームが参加し、作業中は大雪に見舞われる場面もありましたが、無事、時間内に無品は完成！

今年が31回目の参加となるポートランドチームの作品タイトルはポートランドのニックネームの一つである『Stumptown / 切り株の町 スタンプタウン』。大きな切り株の中に小さな動物が隠れている、迫力がありながらも可愛い雪像が出来上がりました。皆さん、お疲れ様でした！



▲激励に駆け付けた在札幌米国総領事館のアンドリュー・リー総領事(一番右)と



▲全員で記念写真

国際交流員がお届けします！姉妹都市 HOT ニュース

アメリカ・ポートランド市 レポーター：ジョシュア・クロツツ

ポートランド市は食文化の中心地として、質の高い多国籍料理を楽しめ、豊かなアメリカ太平洋岸北西を代表する地産地消(農場から食卓への食事: Farm-to-Table)レストランがあり、これらはノースウエストスタイルと呼ばれています。

毎年3月は、Dining Month(ダイニング月間)として、ポートランドのトップレストランで3品のコース料理をお得な価格で提供しており、アメリカの最も代表的な料理を手頃な価格で体験するのに最適な時期です。

2020年はダイニング月間の11周年を迎え、130の高級レストランが33ドル(約3,600円)で3品のコース料理を提供します。ポートランドにある、フランス料理、中華料理、メキシコ料理、海鮮料理、石窯ピザ、寿司、居酒屋スタイルのレストランの全てで、ポートランドの豊かで多様な食文化に出会うことができます。



韓国・大田広域市 レポーター：イ・ミヒョン

韓国で科学技術都市と知られる大田広域市がより一層「市民が体感できるスマートシティー」になります！国土交通部が実施する「スマートシティーチャレンジ事業」に大田が最終対象地として選定され、市民の生活がより便利・安全になります。具体的に市民の生活がどう変わるでしょうか。



※駐車アプリを通じて駐車が楽になる！

アプリを使って今空いている駐車スペースが一目で分かるようになります。実証実験では7か所の駐車場、731駐車面を共有した結果、駐車場利用率が21.9%、交通混雑度が20.9%改善されました。これからは市全域に3万個以上の共有駐車面を確保し、公営・民営に関わらず市民が駐車しやすくなります。

※消防現場でドローンが活躍！

大田市全域26か所の「119安全センター」にドローンステーションが設置され、火災のお知らせが届き次第、近くのドローンが自動で出動し、現場の映像を119番の状況室と消防現場に提供します。安全かつ効率的な消防活動で市民の安全を守ります。上記2点以外にも、市場や老巧施設などで電気火災をモニタリングするサービスやPM2.5測定サービスなど、様々なサービスが行われるそうです。市民が住みやすい大田で笑顔が増えそうですね！



中国語スピーチコンテストが開催されました！

2019年10月13日(日)、北海道日中友好協会の主催する全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会が、かでの2・7にて開催されました。この大会は、中国語を学ぶ一般の方から、小中高校生までどなたでも参加できるスピーチコンテストで今年度で37回目を迎え、中国語と中国文化に親しむ機会を提供しています。暗唱、朗読、弁論の部があり、中国語の発音の正確さはもちろんのことですが、声の抑揚や表情など表現の豊かさも採点の対象となります。

今大会には札幌国際プラザでインターンを経験した北川真帆さん(藤女子大3年)も参加しました。皆さんの日頃の中国語学習の成果が発揮され非常にレベルの高い大会となる中で、暗唱の部優勝と特別賞を受賞しました。その他の受賞者も若い世代が多く、今後の活躍が期待されました。



▲笑顔の授賞式



第29回ロシア語詩と朗読のつどいを開催しました！



2019年11月3日(日・祝)、日本ユーラシア協会札幌支部が主催する「第29回 ロシア語詩と朗読のつどい」が開催されました。この事業は1991年、前年のノボシビルスク市との姉妹都市提携を記念して始まったもので、ロシア語による詩の朗読を通じて、札幌市民のロシア文化への理解を深める事業として継続されています。

▲歌を披露するアリョーナさん



詩の朗読やロシアの昔話の演劇などバラエティーに富んだ内容で、ロシア語を長年勉強されている方から、あまり馴染みのない方まで楽しめる会となりました。

最後には札幌市国際交流員のアリョーナさんがロシア語で見事な歌唱を披露し、会は大盛況のうちに終了しました。



▲日本ユーラシア協会札幌支部 竹田 正直支部長

ロシア・ノボシビルスク市 レポーター：アリョーナ・フェシナ

緊張感やハイスピードを楽しんでみませんか？毎年ノボシビルスクでドリフトショーや競技が開催され、シベリアの様々な都市からの選手が参加します。雪上ドリフト大会が特に印象的で、選手は高速でタイヤを滑らせながら、不思議な踊りのようなパフォーマンスを披露します。車をちゃんとコントロールできるかどうかを審査され、スピード・軌道・角度・スタイルなどの基準で評価されます。若者を対象に、モータースポーツの人気上昇を目指すドリフト大会は、遊びだけではなく、集中力や冷静さを高める意義があるとともに、観客を魅了させるイベントでもあります。



中国・瀋陽市 レポーター：王 媛 (オウ・エン)

2019年末、瀋陽のイスラム火鍋店「水上漁港」は、30周年を機にリニューアルオープンしました。老舗店が今の時代に合わせていかに若者の心をつかまえるか、という問いには「革新」という答えしかないでしょう。

食といえば中国、中国の東北地方の冬と言えば、火鍋が一番の人気です。「水上漁港」は瀋陽最大の火鍋店と言っても過言ではありません。80以上のテーブル、何百人も入れるスペースを誇っているこの店は、高級なインテリアがお料理を引き立てています。内モンゴル大草原で育てられた羊肉と牛肉、オーガニック野菜、トマト・シイタケ・唐辛子などを使用して作られた火鍋だし、種類豊富なたれ、新鮮で無料提供の果物、独自の黒ゴマソースなど、知恵を絞ってつくり出した自慢の味をお客様に提供しています。



ドイツ・ミュンヘン市 レポーター：オリヴァー・ギール

ドイツには、地域の大切な行事やお祭りが行われる時期を「Fünfte Jahreszeit(第五の季節)」と呼ぶ慣習があります。ミュンヘンの「Fünfte Jahreszeit」の一つは普段3月に始まり、その頂点として知られているのは毎年「Paulaner Nockherberg(パウラーナー・ノッカーベルク)」というビアホールで開催される「シュタークビアフェスト(強いビールのお祭り)」です。ミュンヘンでは、9月半ばから開催される世界的に有名な「オクトーバーフェスト」の期間も「Fünfte Jahreszeit」といいますが、「シュタークビアフェスト」の時期だけに、8%前後のアルコール度数があるビールを飲みます。この200年以上前から続いている伝統はミュンヘンの「パウラーナー修道院」に由来しています。当時の修道士がキリスト教の「四旬節」の断食中の栄養不足を補うために作った麦汁比重の高いビールは、現在でも飲まれています。いつもならシュタークビアフェストの次に「小さいオクトーバーフェスト」と呼ばれる「フリーリングスフェスト(春祭り)」も行われますので、春にビールを飲む機会がたくさんあります！

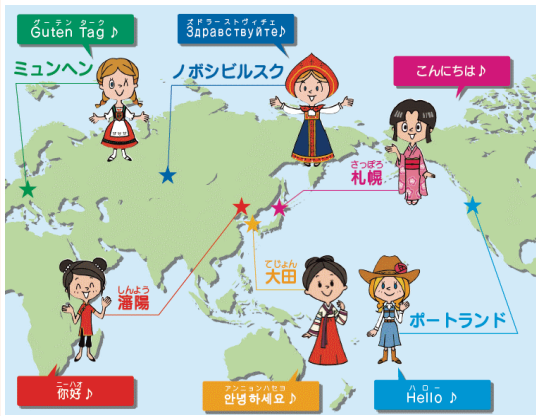


※シュタークビアフェストとフリーリングスフェストは今年、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期となりました。



今号から「Jr.TOMO」が始まります！姉妹都市協会のキャラクター「シスターくん」が、姉妹都市について、知って得する豆知識や最新ニュースをお届けします。ぜひご覧ください。

知っていますか？札幌と5つの姉妹都市



札幌には5つの姉妹都市があります。提携を結んだ順に並べると以下ようになります。

- 1959年 ポートランド市（アメリカ）
- 1972年 ミュンヘン市（ドイツ）
- 1980年 瀋陽市（中国）
- 1990年 ノボシビルスク市（ロシア）
- 2010年 大田広域市（韓国）

2020年は瀋陽、ノボシビルスク、大田広域市の3都市と姉妹提携となってから、それぞれ40周年、30周年、10周年を迎え、記念行事が予定されているのでお楽しみに！



姉妹都市まめ知識



「シスターくん」誕生秘話

「シスターくん」は、1996年に誕生しました。シスターくんの「生みの親」は北広島市在住の込堂賢（こみどうさとし）さん。地球の中に顔が描かれ、姉妹都市と親しく交流しようという願いが込められています。顔の中のSはSapporoの頭文字で、頭上の輝きは5つの姉妹都市の輝きを表しています（シスターくんが誕生した時は、姉妹都市が4つだったので、4つの輝きでしたが、韓国・大田広域市が加わったため、込堂さんの同意を得て5つになりました）。親しみやすく、作品の意図がはっきりしていることなどが選考理由となりました。



どうして「姉妹」都市なの？

姉妹都市はなぜ「兄弟」ではなく「姉妹」なのでしょう？ヨーロッパの国の言葉には「男性」と「女性」の区別があります。「都市」が女性に分類される言語を翻訳したため、「姉妹都市」と呼ばれるようになりました。ちなみにロシア語では「都市」は男性名詞なので、「兄弟都市」と呼ばれています。面白いですね！
同じ英語でもアメリカでは、姉妹都市はsister cityですが、イギリスでは、twin town（双子都市）と呼んでいます。「姉妹」と言うと上下関係が生じるため「友好都市」と言う表現を使う国もあります。



ロシア語トークルーム

国際交流員アリョーナさん



シスターくん

カク フクスナ ヴィグリディツ！ア シト エタ？
Как вкусно выглядит! А что это?
(おいしそう！これは何？)

国際交流員アリョーナさん

※ロシア語では
“ピ『ラ』シキと
発音するよ！

エタ ピラシキ！
Это пирожки!
(これはピロシキよ)



シスターくん

モジナ パプロバヴァチ？
Можно попробовать?
(食べてみていい？)

国際交流員アリョーナさん

カネシナ！プリハディ ヴ ゴスチ！
Конечно! Приходи в гости!
(もちろん！遊びに来てね！)



札幌の姉妹都市関係のイベントの情報などを写真付きでご紹介するほか、姉妹都市交流に関心を寄せて下さっている皆様の情報交換の場としてもお使いいただけます。

<https://www.facebook.com/sapporo.sistercities>

